



学校創立143周年

百年松

阿木名小中学校便り 令和5年3月20日発行

◇校訓「かしこく やさしく たくましく」
あきな 明るく元気なあいさつができる子ども
あきな ぎりぎりまであきらめず努力する子ども
あきな 仲よく笑顔いっぱいの子ども
～花いっぱい、元気いっぱい、笑顔あふれる阿木名っ子～



阿木名小中学校

精神一到何事かならざらん

校長 井上 泉



ある寺の僧が修行をしているときのことで、一匹のリスが小さなため池のほとりで、尾に水をつけては出し、つけては出しを繰り返していたそうです。不思議に思った僧がリスに尋ねたそうです。「何をしているのですか。」するとリスは「私はこのため池の水を、汲み尽くそうと思っています」と答えました。僧は驚いて、「あなたのような小さな尾で一滴二滴汲み出して、こんなため池の水をなくすなんてできているのですか。何年かかるかわかりませんよ」と言いました。リスは「あなたのおっしゃる通りでしょう。しかし私は数年で、できなかつたからと断念するようなことはしません。たとえ何年かかろうとも、目的を達成するまではやめない決心をしております。」と言いました。僧は、リスの固い決心にはっとさせられました。「自分も今は、このリスに負けないくらいの大願をしている。ここでくじけたらいけない。何年かかろうとも、最初の目的を果たすまでは志を曲げてはならない。」と、やや修行に行き詰まりを感じていた僧は、再びやる気を出し修行に励んだそうです。

この僧はあまりにも修行が大変で、なかなか思うように進まないことで、修行を断念しようかと考えるようになっていたのです。その僧の行き詰まりを悟った神様が、リスになり代わり励ましたのです。

目指す目的が大変であればあるほど、「精神一到何事かならざらん」の強い決意が必要です。また、早く目的を達成がしたいがために心だけが先走ると、あせり、無理をし、かえって疲れるものです。それに方法を間違えたりして、目標に到達しないかもしれません。「急がば回れ」です。

目標が大きければ大きいほど、足下をしっかりと見つめ、自分の足で一步一步踏みしめていくことが肝心です。阿木名の子どもたちにも目先のことだけにとらわれず、大きな希望と志をもってたくましく育ててほしいと願います。

小学校6年生・中学校3年生のみなさん、卒業おめでとう。数え切れないほどの楽しかった思い出や、苦しかったこと、悩んだこと、色々思い出されることでしょう。これからは輝く未来が待っています。自分の力を信じ、精一杯頑張ってください。みなさんの活躍を祈ります。



卒業をおかえられた保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。これまでのさまざまな思い出が胸いっぱいに広がっていることと思います。子どもたちのこれからが、さらに輝かしいものになるようご祈念申し上げます。

在校生の保護者の皆様、次のステージに向かう子どもたちが、さらに活躍してくれることを信じています。

全ての保護者、地域の皆様、これまでの学校教育へのご協力・ご支援に心より感謝申し上げます。新たに始まる令和5年度にも、今まで以上にご協力・ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございました。